

男性が抱える不妊



不妊は女性だけの問題と思いませんか。
現在、不妊の原因の約半分に男性が関わることが分かっていますが、男性は自身の不妊について語りづらい傾向にあるようです。

夫とともに不妊治療を経験した研究者が、不妊を「夫の問題」ではなく「夫婦の問題」としてとらえ、当事者たちへのインタビューを通じて、男性不妊の現状を知ることで見えてきたことを学びます。

講師 竹家 一美 氏

お茶の水女子大学ほか 非常勤講師/博士（社会学）

■配信期間 **令和4年11月11日（金）～11月24日（木）**

■対象 区内在住・在勤・在学で YouTube 動画を視聴できる機器をお持ちの方。

※ 通信料等は申込者負担

■申込み 新宿区ホームページ、または右下の二次元コードからお申込みください。

申込者へ動画サイトの URL を送信します。

※ 申込後3日以内に確認メールの返信がない場合はお問い合わせください。

■講座時間 約90分（予定）

■申込期間 **10/27（木）～11/22（火）まで**

■問合せ 新宿区子ども家庭部男女共同参画課
〒160-0007 新宿区荒木町16番地
新宿区立男女共同参画推進センター（ウィズ新宿）
電話 03（3341）0801
FAX 03（3341）0740



～講師紹介～

竹家 一美氏

お茶の水女子大学ほか大学非常勤講師、社会学博士

2020 年 お茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士後期課程修了。日本学術振興会特別研究員 DC2、お茶の水女子大学グローバルリーダーシップ研究所特別研究員を経て、現在、お茶の水女子大学、奈良女子大学、日本大学ほか複数の大学で非常勤講師をつとめる。専門は社会学、ジェンダー／セクシュアリティ研究。

新卒で民間企業に就職。結婚後、自身が不妊治療を経験したことから当該問題に関心をもち、2003 年に奈良女子大学へ編入学。2005 年から 2010 年までは京都大学大学院教育学研究科(博士前期・後期課程)に在籍し、生涯発達心理学および質的心理学を専攻。2012 年、社会学を学ぶためお茶の水女子大学大学院人間文化創成科学研究科博士前期課程入学。2014 年、同大学院博士後期課程進学。長年、不妊や生殖医療をテーマに研究を継続。2021 年 4 月に初めての単著『日本の男性不妊—当事者夫婦の語りから』(晃洋書房)を出版。

＊この講座は新宿区と新宿区男女共同参画推進センター運営委員会との協働事業です＊

◆◆◆ 運営委員会参加団体 ◆◆◆

ぐるーぷ・カナリヤ、新宿区家庭教育グループ連絡会、新宿区婦人団体協議会、
新宿区平和派遣の会、新宿女性九条の会、新宿ユネスコ協会

個人情報の取り扱いについて

お申込みの際にお伺いする個人情報は、

- ① 講座開催の予約確認、② 突発的事情による中止などの連絡、
- ③ 講座実施方法の連絡、④ 受講者の年代に合わせた講義の準備

にのみ使用し、それ以外の目的では使用しません。